



シジュウカラ 第97号

令和3年2月1日発行



もくじ

- 2 ページ ・フルマカモメを收容しました
・特定外来種
- 3 ページ ・イベント情報（3月～6月）
・イベント報告（9月～12月）
- 4 ページ ・傷病鳥獣の收容状況
・愛鳥センター利用案内

表紙の写真

年末年始からの大雪で地面は覆われ、愛鳥センターでは、水を流している場所や除雪された駐車場に鳥たちが降りてえさを探している姿が多く見られました。普段は見られないタシギも現れました！

人間も大変でしたが、鳥たちにとっても厳しい冬となりました。

※写真上左から、観察池の雪景色、ヤマガラの後ろ姿、キジの足跡、タシギ

下左から、カシラダカ、アオジ、ハクセキレイ、マヒワの羽根



愛鳥センターHP



フルマカモメを収容しました

2020年11月12日に柏崎市からフルマカモメを収容しました。愛鳥センターでは、9例目の収容です。

フルマ“カモメ”という名前ですが、ミズナギドリのなかまです。

英名は Fulmar といいますが、悪臭のするカモメという意味だそうです。たしかに、ホコリくさいような、脂が劣化したような、独特のにおいがしました。

フルマカモメには暗色型や淡色型など色の型があります。この個体は暗色型でした。色褪せて擦り切れた古い羽毛と、新しく生えてきたきれいな羽毛がまだらになっていたため、成鳥と思われます。

くちばしは薄いピンク色、足は黒っぽいピンク色でした。ブロック分けされたような不思議な形のくちばしと、管状の鼻が特徴的でした。ミズナギドリの仲間がもつこの鼻の形は、「管鼻」といいます。ミズナギドリ類の嗅覚がすぐれているのもこの形と関係があるのでしょうか。

この個体はしばらくの間給餌をして、体重も増えてきたため11月中に放鳥しました。



背中
換羽中で旧羽と新羽
が混じります。



正面から見た鼻

優しいお顔です。鼻の形が特徴的です。

測定値

全長：405mm 翼開長：890mm 翼長：242mm
尾長：106mm ふしよ長：50mm 露出嘴峰長：36.4mm
嘴高(鼻を含む)18.4mm 嘴高(鼻を含まない)14.0mm

特定外来生物に注意！

2020年11月に、胎内市で保護された種不明の鳥が持ち込まれました。新潟県ではまだほとんど生息が確認されていなかった「ソウシチョウ」でした。

ソウシチョウは、全長が14~15cm程度、目の周囲が白っぽく、くちばしが赤く、上面が黄緑色のきれいな小鳥です。特定外来生物に指定されていて、関東や西日本などでは数多く、定着しています。

特定外来生物は、移動や保管、飼育などが禁止されています。また、本来、愛鳥センターでは外来種は収容していません。

ソウシチョウのほか、ガビチョウも近年新潟県内で生息が確認され、分布を拡大しつつあります。人間に対しての害はありませんが、繁殖環境が類似するウグイスなどと競合することが懸念されています。生体の移動が禁止されているため、けがなどをしていて捕まえた場合も持ち帰ることはできません。その場で放すことは規制の対象にはなりませんので、その場で放すか、ホームページに掲載している各地域機関にご連絡ください。

今後、県内でも生息数が増えてくる可能性がありますので、注意して動向を見ていきたいと思っています。



ソウシチョウ



3月～6月イベント案内

新型コロナウイルス感染症の影響により内容が変更・中止になる可能性がありますので、HP 等で最新の情報を確認してください。

探鳥会 ※参加無料

- ・ハクチョウを見送る会（申込受付中）
日時：3月7日(日) 9:00～10:30
場所：お幕場大池公園 定員：15名
- ・初心者探鳥会（申込4/1～）
日時：①4月24日(土)②5月1日(土)
各9:00～10:30
場所：愛鳥センター 定員：各30名
- ・愛鳥週間探鳥会（申込4/1～）
日時：5月9日(日) 6:30～9:00
場所：大峰山 定員：30名

講座 ※参加無料

- ・目指せ鳥類調査員！鳥の鳴き声勉強会
※中級者向け(申込4/1～)
日時：4月25日(日) 9:00～11:00
場所：愛鳥センター 定員：10名(小学5年以上)
鳥の野外調査に興味があり自分でやってみたい人、鳴き声の識別を勉強したい人向けの講座です。調査できるレベルの方は対象外

ゴールデンウィークイベント ※参加無料

- ・工作教室（消しゴムはんこ）（申込4/1～）
日時：5月1日(土) 13:00～14:30
定員：20名（要申込）
- ・しおり教室
日時：5月2日(日)～5月4日(火)13:00～14:45
会場：愛鳥センター 2階レクチャールーム
開催中いつでも参加できます（申込不要）

野鳥保護の集い（愛鳥センター）参加無料

夏鳥に関する講演会を通して野鳥保護思想の大切さを学びます。

日時：6月12日(土)14:00～15:30
会場：愛鳥センター 2階レクチャールーム
講演：新潟県におけるサシバ（猛禽類）の生態状況について（新潟県委託事業）(仮題)
定員：40名（要申込）
詳細はホームページでご確認ください。



9月～12月イベント報告

イベント報告の詳細については、愛鳥センターHP またはフェイスブックでご覧ください。

9/27 (日) 9:30～11:00

愛鳥センター探鳥会

講師：愛鳥センター職員

場所：愛鳥センター周辺 観察種：9種

雨の中の開催となりましたが、キツツキ類、ウグイスなど観察しました。



10/24 (土) 9:00～10:30

清潟探鳥会

講師：愛鳥センター職員

場所：清潟（新発田市） 観察種：31種

雨上がりにノスリの渡りが確認できました。



12/13 (日) 9:00～10:30

弁天潟公園探鳥会

講師：愛鳥センター職員

場所：弁天潟風致公園（聖籠町） 観察種：17種

ハクチョウの飛び立ちを確認できました。



11/23 (月・祝) 13:00～14:45

愛鳥講演会(県生涯学習推進センター)

講師：環境省佐渡自然保護官事務所

岡久 雄二 氏

テーマ：トキの野生復帰

演題：希少鳥類を守る取組みと私たちにできること



傷病鳥獣の収容状況

令和2年度 8月～11月の傷病鳥獣収容結果

収容NO.	種類	7月末収容数	収容数	放鳥数	返還譲渡	死亡	11月末収容数	収容NO.	種類	7月末収容数	収容数	放鳥数	返還譲渡	死亡	11月末収容数
(鳥類)								36	カワセミ		4	2		2	0
1	ヤマドリ		1				1	37	チョウゲンボウ	4	1	2			3
2	キジ		1			1	0		ハヤブサ	1					1
3	コハクチョウ	3	12	2		6	7	38	オナガ		1			1	0
4	ヒドリガモ		2			2	0		ハシボソガラス	2					2
5	マガモ	1	3	1		1	2	39	キクイタダキ		1	1			0
6	カルガモ		2	2			0	40	ツバメ	5	10	2		12	1
7	コガモ		1			1	0	41	ヒヨドリ		4	1		3	0
8	カンムリカイツブリ		2	1		1	0	42	ウグイス		12	4		8	0
9	キジバト	2	6	2		2	4	43	ヤブサメ		1			1	0
10	アオバト	4	3			4	3	44	メソムシクイ		2	1		1	0
11	フルマカモメ		1	1			0	45	エゾムシクイ		1	1			0
12	オオミズナギドリ		7	4		2	1	46	センダイムシクイ		1			1	0
13	カウウ		1	1			0	47	メジロ		1			1	0
14	ゴイサギ		2	1		1	0	48	ミンサザイ		1			1	0
15	アマサギ		2			2	0		マミジロ	1					1
16	アオサギ		3			3	0	49	トラツグミ		1			1	0
17	チュウサギ		2			2	0	50	クロツグミ		4	1		3	0
18	バン		1			1	0	51	シロハラ		3	2		1	0
19	ツツドリ		1			1	0	52	ツグミ		2			2	0
20	カッコウ		1	1			0	53	ノゴマ		1			1	0
21	ヨタカ		1	1			0	54	コルリ		1			1	0
22	ムナグロ		2			1	1	55	インビヨドリ		2			2	0
23	トウネン		1			1	0	56	オオルリ		1	1			0
	ユリカモメ	1				1	0	57	スズメ	1	4	1		4	0
24	ウミネコ	2	4			4	2	58	ハクセキレイ		2			2	0
25	オオセグロカモメ	1	1	2			0	59	カワラヒワ		1	1			0
26	ミサゴ		1				0	60	クロジ		1			1	0
27	トビ	9	4	1		2	10	61	ドバト		3	1		2	0
28	オオタカ		1			1	0	62	鑑賞バト		1		1		0
29	サンバ	2	1	1		2	2	63	ソウシチョウ		1			1	0
30	ノスリ	5	1	1		5	5	64	不明		12	2		10	0
	クマタカ	1				1			小計	46	164	51	1	109	49
31	オオコノハズク		1	1			0	(獣類)							
32	コノハズク		3	2		1	0	1	タヌキ		1			1	0
33	フクロウ		3	1		2	0		小計	0	1	0	0	1	0
34	アオバズク		1	1			0		合計	46	165	51	1	110	49
35	アカショウビン	1	5	1		4	1								

<特記事項>

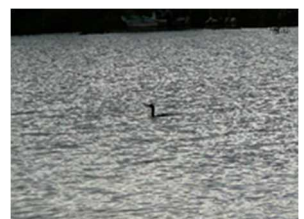
令和2年9月24日
新発田市小舟町地内で保護され、同日収容。起立出来ず、左脇の皮下気腫から衝突が原因と思われる。給餌及び投薬治療を施した結果、状態が回復し10月5日に放鳥した。収容時の体重：1740g
(H25以降3例目)

<その他>

ヒドリガモ 8例目
ムナグロ 8例目
フルマカモメ 9例目



カワウ(収容時)



カワウ(放鳥・落堀川)

来館者

※相談件数：野鳥に関する電話等の件数（ケガの情報提供や相談など）

月	8月	9月	10月	11月	計	累計
来館者数	654	367	718	909	2,648	634,460
相談件数	48	14	20	22	104	—

館内設置のトキ募金箱の報告

令和2年8月～令和2年11月 3,922円

累計 304,903円

皆様の温かい善意に深く感謝いたします。

新潟県愛鳥センター紫雲寺さえずりの里

- 開館時間 午前9時～午後4時
- 月曜日（祝日の場合は翌平日）
年末年始（12/29～1/3）
- 入館料 無料
- 問合せ

〒957-0231 新発田市藤塚浜海老池

☎ 0254-41-4500 FAX 0254-41-4501

HP <https://www.pref.niigata.lg.jp/site/aicho/>

